



学校運営協議会だより

第2回地域教育協議会及び第4回学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

- 開催日時 令和2年8月21日(金)
第2回地域教育協議会 午後1時30分より午後2時40分まで
第4回学校運営協議会 午後2時45分より午後3時00分まで
- 会場 音羽中学校 地下1階地域開放室
- 出席者 堀内一男(委員長)、井上充代(副委員長)、下山良智、右近茂子、宝川順子、弘世京子、塩川浩司、黒田真紀、本郷光一(校長)、梅田保幸(副校長)、矢野尾真子(1年主任)、北田健(2年主任)、岡根武志(3年主任)

《第2回地域教育協議会》

司会・記録：梅田保幸(副校長)

学校支援地域本部側参加者(井上充代(コーディネーター)、弘世京子、塩川浩司)

- ・通常は8月末(夏休み最終の平日)に、全教員と学校支援地域本部コーディネーター、学校運営協議会委員での意見交換会を行っていましたが、今回はコロナ過における対応として、教員は管理職と各学年代表3名の計5名の参加で実施しました。なお、第1回は中止となっています。
- ・井上チーフコーディネーターの挨拶のあと、地域本部コーディネーター、学運協委員の順で自己紹介を行い、その後、各学年主任より1学期期間中の各学年の生徒の様子や活動について報告がありました。1年生は入学式が6月になり、4月は教科書等の受け渡ししかできなかったことで、顔と名前が一致しないまま5月のオンライン授業で初めてマスクのない顔をお互いに見られたこと。2、3年生も4月は始業式のみで、5月のオンライン授業を挟んでやっと6月から授業が再開されたが、学習や進路への不安があることなどが伝えられました。ただ、むしろそれが意欲的に頑張ろうという気持ちや、学校に来ることの楽しみを感じたなど、生徒がポジティブに考えられるようになってきたことにも繋がっているようです。報告のあと、オンライン授業への質問や現状へのアドバイス、激励の言葉が伝えられました。
- ・各学年から、地域本部への今年度の要望についても話がありました。多くの行事が中止となり、協力の依頼が減っていること。その中で、1年生職業講話の講師紹介のお願いが出されました。実施時期は11月下旬から12月上旬を考えています。

《第4回 協議・連絡・報告事項》

司会：堀内一男(会長)、記録：梅田保幸(副校長)

- (1) 来年度の第2回地域教育協議会の実施形態について、昨年度好評だった、教員側を学年ごとの3グループに分け、そこにコーディネーター等が入る形の意見交換会とすることを確認しました。
- (2) 8月1日から変更された夏休みの活動については、1週目に全学年教育相談を実施し水泳教室は授業も含め中止、2週目は学校閉庁日(11~13)もありほぼ活動なし。今週は部活動も実施されたが、総合体育大会は中止になり、来週から2学期が始まることが校長より伝えられました。
- (3) 8月終盤の予定について報告しました。
24(月)始業式、26日(水)眼科検診、27日(木)1年内科検診
- (4) 学校支援地域本部・PTAより
 - ・部活動再開にともない、グラウンドキーパーの支援活動を再開しています。今後、新たに卒業生保護者に向けてボランティアの募集を行います。(地域本部)
 - ・コロナ対応で委員選定等を書面や個別連絡で調整。P会費削減、広報誌縮小あり。(PTA)

《委員より一言》 今月は諸留和夫委員です。

昔会社勤めをしていたころ、ある得意先から頂いたその会社の社内便箋の一番下に英語で「Open eyes on all」と印刷記載されていた。資本主義社会の世の中だから、利益を得るためにあらゆることに関心を持ちなさいよという意味だと解釈したが、ためになる言葉だと思ったのでしょうか、何十年もの間忘れることなく頭に残っている。

この言葉を自分で勝手に善意にもっと広く解釈すれば、世の中で生きていくのに目の前にあるいろいろな事柄についてよく考えなさいと言われているのか。身の回りに問題はいつもある。ポヤーンとして過ごしていると見過ごしてしまう事柄も多くあることだろう。

本を読んだだけでは解決が難しく、自分自身が経験を積まないとできないことも多々あることでしょう。が、先ずは問題点を見つけたことから始まると思っている。

諸留和夫

次回の学校運営協議会は、9月28日(月)、午後3時30分より音羽中学校で開催します。